

# 東海市ゆかり、近代製鉄の父

## 知多版



波の音

巨木 葉子

あざみの会所属

ニュース、情報は下記へ  
社会部  
052-231-1650・5919  
Eメール

shakai@chunichi.co.jp

半田支局 〒475-0903  
半田市出口町1-45-18  
0569-21-0021 Fax23-2372  
中部空港支局 〒479-0881  
常滑市セントレア1-1  
0569-38-1310 Fax38-1311  
東海通信局  
0562-32-0240 Fax33-5065  
大府通信局  
0562-46-2668 Fax46-6833  
常滑通信局  
0569-35-2248 Fax36-0040  
内海通信部  
0569-62-0055 Fax64-0005

中日新聞へのご意見は  
読者センターへ  
052-221-0800 Fax221-0819  
Eメール

center@chunichi.co.jp  
掲載写真を購入希望の方は  
最寄りの中日新聞販売店へ

# 横山久太郎の伝記完成

岩手県釜石市で日本の近代製鉄の礎を築いた実業家横山久太郎(1856~1921年)の顕彰に向け、出身の静岡県袋井市、釜石市、東海市の3商工会議所が合同で、青少年向けの伝記「成せば為る」を発行した。(長谷部正)



横山久太郎  
=東海商議所提供

横山久太郎の伝記をPRする職員=東海商工会議所で



だが、生前に本人が好んで使っていた表記を尊重した。  
最初の奉公先で道楽に明け暮れる主人を戒めた挿話や高炉操業に至るまでの苦闘ぶりなどを詳細につづり、何事もあきらめずに最後までやり遂げることの尊さを説いている。

東海商議所の下村一夫専務理事は「東海市にとつて縁の深い偉人の物語。子どもたちだけでなく多くの市民に読んでほしい」と話す。

横山は新日鉄住金釜石製鉄所の前身「釜石鉱山田中製鉄所」の初代所長。表層仲買を営む家の長男に生まれ、十三歳で奉公に出た。その後上京し、同じ遠州出身で軍用鉄材などを扱う「鉄屋」

主人の田中長兵衛の下で二年弱の試行錯誤の末、一八八六年十月に四十九回目の挑戦で銑鉄(鉄)を還元して取り出すことに成功し、釜石を還元して取り出した鉄の製造に成功し、身ののノンフィクション作家

家半沢周三さん。半沢さんは新日鉄釜石製鉄所で長く社内報や社史の編集などに寄贈したほか、会議所の会員書店などで千八百円(税別)で販売している。◎東海商議所

操作実験は困難を極め、

伝記の著者は釜石市出身のノンフィクション作家

題名は横山の座右の銘。本来は「成せば成る」

1 05662 (33) 281